

行政評価シート(事後評価)

コード (90) 8-4-1	事務事業名 道路の新設改良及び拡幅事業	所管部課 都市整備部道路建設課(旧道路管理課)
-------------------	------------------------	----------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	市民の安全性・利便性・防災面に配慮した新設改良・拡幅その他必要とする工事を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	・設計、積算、施工管理等各基準に基づき実施している。 ・工事実施路線は道路整備選定委員会により選定している。 ・補助金(東京都市町村土木補助等)あり	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)			201,424	125,611	143,515
財源	国庫支出金・都支出金	千円	12,089	3,000	11,266	43,335
	地方債					
	内 其他 ( )					
財源	一般財源		189,335	122,611	132,249	204,358
	所要人員(B)	人	4.33	4.06	3.05	2.55
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	36060	33231	24891	20811
	臨時職員等賃金(C')	千円				775
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	237,484	158,842	168,406	269,279
	単位当たりコスト					
	(E)=(D) / ( 市道改良延長 )	千円	81	99	95	168

評価指標の設定	活動等指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	市道改良延長	実績値	m	2,925	1,599	1,765	1,600
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) 事業費は新設改良費における委託費・工事費の合計であり、用地費は計上していない。							
評価指標の設定	成果指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	一 なし	目標値					
		実績値					
二 なし	目標値						
		実績値					
(指標の説明・数値変化の理由 など)							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	市民アンケート「このまちの悪いところ」(都市マスP.12)では、約半数が道路整備の必要性を感じている。 また、平成16年「市民交通行動に関するアンケート」においても、狭幅員道路に危険を感じている市民が多いたうかがえる。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 管理する道路延長が同規模の5市(本市含む)の調査をした。 ・事業費・施工延長とも本市は上位(2番目)にある。 ・単位当たりコストは本市が最小額 ~ 道路改良であるが補修系色彩の濃い施工内容といえる。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

コード (90) 8-4-1	事務事業名 道路の新設改良及び拡幅事業	所管部課 都市整備部道路建設課(旧道路管理課)
-------------------	------------------------	----------------------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等	
事業の優先度(緊急性)	3			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	市道の適正な管理はもとより、 ・体系的道路ネットワークの形成 ・交通安全対策 ・歩行空間の整備(バリアフリー化)等々 を目的とした道路整備事業のさらなる拡充を図る必要がある。
事業の必要性	3			<input type="checkbox"/> 継続実施	
事業主体の妥当性	3			<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
直接のサービスの相手方	3			<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	3			<input type="checkbox"/> 休止	
受益者負担の適切さ	3			<input type="checkbox"/> 廃止	
市民ニーズの把握	3				

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等	
事業の優先度(緊急性)	2			<input type="checkbox"/> 拡充	毎年、道路の劣化状況等を調査し、庁内に設置した道路整備選定委員会で、整備の優先度を検討した上で、予算化する仕組みを評価する。 今後も、この仕組みを継続しながら、主要道路、生活 主要道路の整備について、緊急性の高い路線から整備を進めるとともに、より耐久性の高い補修方法について調整を図る必要がある。
事業の必要性	3			<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
事業主体の妥当性	3			<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
直接のサービスの相手方	3			<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	3			<input type="checkbox"/> 休止	
受益者負担の適切さ	3			<input type="checkbox"/> 廃止	
市民ニーズの把握	2				

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	平成18年度に策定した「道路整備計画」に基づき、道路整備選定委員会で整備の優先度を適切に評価した上で、計画的な道路整備に取り組まれない。